

髪型について

中学校では昨年度から校則についての見直しを生徒会と話をしながら進めているところです。頭髮に関しては、中学生段階としての健康面への配慮から、「髪の毛を染めない」「パーマをかけない」「前髪が目にかかったら切るか止める」「髪が肩についたら結ぶ」といったことを指導していきます。また、学校は学習の場であることから、整髪料を使用すること、おしやれに偏った髪型や一部だけを伸ばしたり、刈り込んだりするなどの極端な髪型も勧めていません。髪型によっては、ご家庭に相談することもあると思いますが、学習の場にふさわしい髪型とはどうあるべきなのか、生徒とともに考えていきたいと思っています。お子様の将来のことを何よりも最優先させながら共に考えていきたいものです。

夜に出歩くことのないように！

最近、日没も大分早くなってきました。中学生だけで夜に出歩いている人たちがいるという話を聞きます。家族の人が寝た後に家を出ている人もいます。ではなぜ、夜に中学生だけで出歩いてはいけないのでしょうか？自分たちの安全（命）を守るためです。暗い時間帯というのはそれだけで事故や事件に巻き込まれる恐れが多くなります。夜間に子どもたちだけで外出することで、「飲酒」「喫煙」「交通事故」「性被害・性加害」「薬物乱用」「家出」などの問題行動も起こりやすくなると言われます。自分は絶対大丈夫ということは絶対にありません。自分や友達の安全（命）を守るためにも日没以降の外出は控えましょう。また、塾等に通っている生徒も終わり次第、寄り道をせずまっすぐ家に帰りましょう。

音に敏感になろう！

11月の凡事徹底は「音に敏感になろう！」です。休み時間等に校内の音に耳を傾けると楽しそうに会話する声、特別教室に移動する足音、「座って～」「黙想」と呼びかける声等、さまざまな音が聞こえてきます。しかし、ある一定以上の音での話し声、笑い声、騒ぎ声、飛び跳ねる音等が聞こえ、違和感を感じることもあります。人の声の大きさは性別、年齢、話の内容などによってある程度違いますが、案外気づかずに迷惑をかけていることがあると思います。

また、廊下、教室、階段での飛び跳ねる音や走る音は意外と階下、上階まで響きます。そうすると他の学年の生徒にも迷惑をかけてしまいます。三年生の三者面談も始まり、大事な進路の話をしています。「声のボリュームは大丈夫か？自分の足音は大丈夫か？」音を意識して生活してみましよう。



音は落ち着きのバロメーターである！